

## 横浜市中央図書館 ESCO 事業提案審査の講評

横浜市では平成 31 年 3 月に策定した「環境配慮重視型 ESCO 事業導入計画」に基づき、第 22 号となる横浜市中央図書館 ESCO 事業の提案を募集しました。本施設は 2 回目の ESCO 事業の導入となりますが、課題である照明の LED 化を必須改修要件とし更なる省エネルギー化が図れる提案を広く募りました。

応募は 3 グループからあり、事前に公表している「ESCO 事業提案審査要領」に従い、提案書や応募者によるプレゼンテーションにより各提案を検討するとともに、公正かつ客観的に評価を行いました。

その結果、アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店及び芙蓉総合リース株式会社グループの提案を最優秀提案とし、東芝エレベータ株式会社神奈川支社及び三沢電機株式会社、IBJL 東芝リース株式会社グループの提案を優秀提案としました。

アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店グループの提案は照明の LED 化、CO2 濃度センサーの追加や空調機運転の最適化を図ることで省エネルギー効果を得る提案で技術面、施工計画、運用面等の全体的なバランスが良く、総合評価点数が最も高くなりました。東芝エレベータ株式会社神奈川支社グループの提案も照明及び誘導灯の LED 化や空調負荷の低減、トランスの統合及びトップランナー機器への更新により省エネルギーを図る内容でしたが総合評価点数が及びませんでした。

今回の事業公募には 3 グループからの応募がありました。このうち 2 グループは初めての参加事業者でしたが図書館という施設を十分理解し、前回の ESCO 事業の内容も考慮しながら検討されており、各事業者の特徴も現れた優秀な提案となっていました。中には、既存の機器を有効活用し、運用方法の見直しによる大幅な削減を目指す提案もあり今後の事業推進に大きな期待が持てます。

最後に高い技術力と優れたアイデアに基づき貴重なご提案をいただいた提案者各社に対し審査委員を代表して心からお礼申し上げます。

令和元年 10 月 30 日

横浜市 ESCO 事業提案審査委員会  
委員長 田中 稲子